

しちこうだより

編集・発行 青森県立七戸高等学校編集委員会 〒039-2516 青森県上北郡七戸町館野47-31 TEL0176-62-4111

三年ぶりの修学旅行 ①

コロナ禍で中止が続いていた修学旅行が三年ぶりに行われ、12月3日から7日まで、広島、奈良、京都を訪れた。2年の編集委員が記事と写真を担当し、3年の委員が編集してお届けする。

12/3 一日目 フェリーで宮島へ

一日目は移動のみ。フェリーで宮島に渡った。海が夕日に照らされ、その上に立つ鳥居の立派な姿がとても美しく、宮島は日本三景の一つだそう。安芸の宮島ともい



宮島に向かうフェリーで。後方に小さく厳島神社の鳥居が見える。

うらしい。宮島に着くと、宿舎までの道にたくさん鹿がいて、みんな楽しそうに見ていた。宿舎の敷地内にも鹿が

12/4 二日目

海に浮かぶ世界遺産

雨の厳島神社

バスで厳島神社へ。雨が降ると言っていたので、みんな傘を持っていった。すると予報通り雨になった。



雨の中、厳島神社に到着。

いた。とても可愛かった。きょうは8時間ぐらいの移動でも疲れた。一組女子は、「一日中移動して疲れた

人(1日1万2千人)以上のこと。確かに、外国の方の見学者が多く、ホテルの数もとても多かった。

海に浮かぶように建つ厳島神社は、潮の満ち引きによって見え方が変わる。特に水位

原爆の威力を痛感

広島平和記念公園

広島平和公園では、原爆ドームの「実物」を見て、原爆の威力がどれほど強力だったのかということを感じた。資料館では被爆者の苦しみや、



平和記念公園の「平和の鐘」。

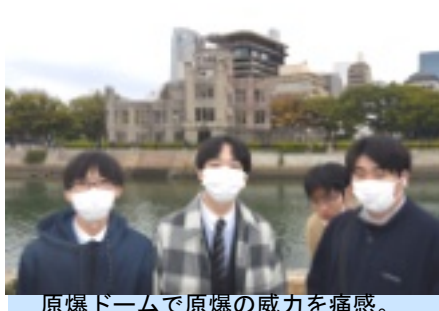
けど、宿舎がとても綺麗でハンモックもあり、楽しかった。明日は清水寺が楽しみ」と話していた。(鳴海・田中)

の古い時代の満潮時には床が水没して歩けなくなり、見学できなくなることもあると話していた。

1組女子は「海に浮かぶ大きな鳥居が印象に残った」と話していた。(田中)

崩壊した町の状況などを知った。

実際に原爆が落とされた場所に行くことで、当時の状況を詳しく理解することができた。そして、このようなことは今後絶対あってはならないと改めて実感した。(坂本)



原爆ドームで原爆の威力を痛感。

3年ぶりの修学旅行。久しぶりの新聞。編集委員による写真と記事を3年の委員が編集してお届けします。

夕景の清水寺

音羽の滝のご利益

夕方六時ごろ清水寺に到着し、ガイドさんから話を聞いた。特に面白いと思ったの



夕方6時ごろに清水寺に到着。三重の塔がライトアップされていた。

が音羽の滝についての話だ。滝は三筋に分かれており、それぞれ「学業」、「恋愛」、「健康」のご利益があるそうだ。昔は「黄金水」、「延命水」とも呼ばれていたらしい。見学後に一時間程の自由時間



迫力のある大仏を見上げる。



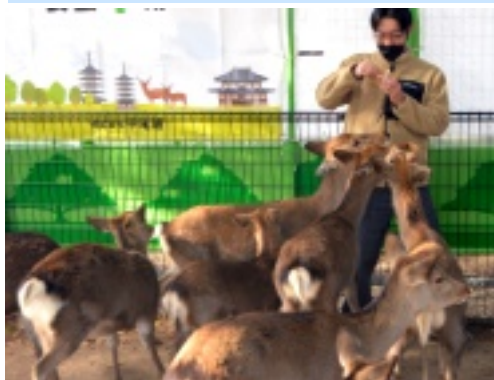
暗くて背景が写らない。

があった。駐車場から清水寺入り口の仁王門まで長い一本



清水の舞台から京都タワーを望む。

の坂が続き、その坂に沿ってたくさんのお店が開いていた。



せんべいに鹿が集まってくる。

3組女子は「雌の鹿が多く、鹿と遊ぶのが楽しかった」「鹿に服をかまれた」「せんべいをあげた。可愛かった」などと話していた。鹿と戯れていた下君の制服のボタンが鹿に食べられてしまうという事件もあった。

(四橋)

奈良公園

12/5 三日目

迫力のある大仏
ラス写真を撮った後、自由時

間があった。大仏はとも大きくて迫力があつた。建物は古く、味があつても魅力的だった。公園に鹿がたくさんいることに驚いた。鹿せんべいを買ひ、鹿と遊んでいる生徒がたくさんいた。

京都タワーも見える

清水の舞台から見えた、ライトアップされた京都タワーも魅力的だった。清水寺の前

3組男子は「お土産屋で買ひ物ができて楽しかった」と話していた。

(四橋)

私は羊羹や漬物を買った。「丹波黒」という店のきんつばは、芋と栗、黒豆の三種類があり、注文すると店員がすぐに作ってくれた。できてたのきんつばは甘くてとてもおいしかった。(鳴海)

には多くの店があり、京都で使えるクーポンもあったので、たくさん買ひ物ができた。3組女子は「とても大きくてきれいだった」「美しく楽しかった。もうすこし遅い時間だったら池のライトアップもあつて、もっときれいだったと思う」と話していた。